

水稲の生育状況（8月5日現在）と栽培上の留意点について

発信日：2024年8月6日

1 生育状況

8月5日現在の水稲の生育状況は、平年値(2014～2023年までの過去10年平均)と比べて、表1のとおりです。

表1 水稲の生育状況(8月5日現在)

品種	移植時期	草丈	茎数	葉色
はるみ	6月上旬	— [◆]	—	—
	6月中旬*	やや長い	多い	やや濃い
キヌヒカリ	6月上旬	—	—	—
	6月中旬	やや長い	多い	やや濃い
てんこもり	6月上旬**	長い	やや多い	同等
	6月中旬**	長い	同等	やや濃い

*2015～2023年までの過去9年平均との対比、**2018～2023年までの過去6年平均との対比

◆6月上旬植えの‘はるみ’及び‘キヌヒカリ’は出穂期のため、調査を行っておりません。

2 栽培上の留意点

気象庁が8月1日に発表した1か月予報（8/3-9/2）では、気温は「高い」、降水量は「ほぼ平年並み」、日照時間は「ほぼ平年並み」の見込みとなっています。

今後の栽培管理については、次の点に留意してください。

(1) 出穂期

生育状況調査では、8月5日現在で出穂期はやや早い状況です。

(2) 水管理

出穂期から10日後までの期間は、稲が最も水を必要とする時期なので、水を切らないようにしてください。出穂期10日後以降は、根腐れを防止し、登熟向上を図るため、「間断かん水」を行ってください。

また、出穂後に高温が続く場合は、高温障害により胴割粒の発生が多くなるため、「かけ流しかん水」を行いましょ。かけ流しが困難な地域では「間断かん水」を行い、常時湛水状態にしないよう注意しましょ。

また、落水時期は可能な限り遅らせ、「早期落水」をしないようにしましょ。

(3) 紋枯病

紋枯病は、高温・多湿条件で多発します。‘はるみ’‘てんこもり’ともに紋枯病にはやや弱いため、発生に注意してください。多発すると倒伏しやすくなるので、必要に応じて防除しましょ（写真1）。



紋枯病（写真1）

(4) 籾の褐変

出穂期前後の強い降雨、強風及び高温の条件下では、もみ枯細菌病、内籾褐変病といった病気や褐変症状が発生しやすいので注意してください。常発地では、出穂期前に薬剤散布を行いましょ(写真2)。



内籾褐変病 (写真2)

(5) 斑点米カメムシ類

斑点米カメムシ類(写真3)に吸汁されると、玄米に斑点が生じることがあります(写真4)。畦畔等の雑草で増殖するため、除草を徹底することが有効です。

出穂 10 日前から収穫 2 週間前の除草は、イネ科雑草が出穂しないようには場周辺の除草を行いましょ。

防除対策については、病虫害防除部の令和 6 年度防除情報(病虫害情報号外第 6 号) 斑点米カメムシ類の防除を参照してください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/108747/20240729.pdf>



ホソハリカメムシ



クモヘリカメムシ



アカスジ
カシカメ



アカヒゲホソ
ミドリカシカメ



イネカメムシ



斑点米 (写真4)

斑点米カメムシ類 (写真3)

(6) ナガエツルノゲイトウ

ナガエツルノゲイトウの発生地域が拡大しています。水田に疑わしい雑草が見られた時は、最寄りの JA または農業技術センターに連絡してください。

なお、ナガエツルノゲイトウの防除は農業技術センターホームページに掲載している 世界最悪の侵略的植物「ナガエツルノゲイトウ」に警戒を!を参照してください(写真5)。

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/88221/r6nagaeboujyo.pdf>



ナガエツルノゲイトウ (写真5)

※この他の病害虫防除対策は、病害虫防除部の「令和6年度病害虫発生予察情報」と「令和6年度防除情報（病害虫情報号外第4号）」を参考にしてください。

令和6年度病害虫発生予察情報

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/2024_4_01.html

令和6年度防除情報（病害虫情報号外第4号）

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/108747/20240701_nouyaku.pdf



（7）熱中症対策

農作業中の熱中症に注意してください。熱中症の予防には日中の気温が高い時間帯を外して作業を行いましょう。また、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等の工夫を行いましょう。のどが渇いていなくてもこまめに水分補給しましょう。また、帽子の着用や汗を発散しやすい服装を心がけましょう。

なお、農作業を行う際はなるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうようにしましょう。

【参考】

表2 農業技術センター（平塚市）での過去10年（2014～2023年）平均

作期	品種名	水を切ってはいけない期間	出穂期	成熟期
6月上旬植	はるみ	7月26日～ 8月20日頃	8月10日	9月17日
	キヌヒカリ	7月25日～ 8月19日頃	8月9日	9月17日
	てんこもり*	8月1日～ 8月25日頃	8月15日	9月23日
6月中旬植	はるみ**	8月1日～ 8月26日頃	8月16日	9月24日
	キヌヒカリ	7月31日～ 8月24日頃	8月14日	9月24日
	てんこもり*	8月5日～ 8月29日頃	8月19日	10月1日

・水を切ってはいけない期間は、出穂期約15日前～出穂期約10日後までの期間。水稻が最も水分を必要とする時期なので、水田の水位を十分に保つようにする。

・*2018～2023年（6年平均）のデータに基づく。 **2015～2023年（9年平均）のデータに基づく。

問合せ先

農業技術センター普及指導部作物加工課

TEL：0463-58-0333 内線 381～384